

関西大学臨床心理士会ニュースレター

第 11 号 2017. 11. 1

『関西大学臨床心理士会第 11 回総会研修会』報告



平成 29 年 5 月 14 日、関西大学臨床心理士会第 11 回総会研修会が開催された。午前の講演では「学生のメンタルヘルス」というテーマで澤村律子会員より、学生相談という立場から近年の学生の特徴や抱える問題についてお話いただき、求められる支援のあり方についてご解説いただいた。

午後からは 2 つの分科会が行われた。分科会 1 では、岡島義先生（早稲田大学人間科学学術院）より「睡眠障害の認知行動療法：基礎と実践」と題して、その知識や実践についてロールプレイを

用いながらわかりやすくお話いただいた。分科会 2 では加藤佑佳会員より「初めて学ぶ認知症アセスメント」と題して、認知症のタイプやアセスメントの種類と実施の際のポイントについて解説いただいた。どちらの分科会も臨床実践の最前線でご活躍されている先生方から現場の実状を踏まえて知識や技術をご教示いただき、大変有意義な機会となった。今後も会員相互の研鑽をつんでいきたい。

（幹事 松尾彩子）

特別講演

「学生のメンタルヘルス」をお聴きして

関西大学 岡田弘司

本会の午前の部では、講師の任を澤村律子先生（大阪医科大学保健管理室）にお取りいただき、「学生のメンタルヘルス」をテーマに特別講演を行いました。澤村先生は医科大学での経験を中心に、この分野の臨床家、ならびに研究者として造詣の深い先生であり、講演内容はとても示唆に富むものでした。講演の要旨は以下の通りです。

現代の学生を取り巻く状況として、情報が氾濫し、価値観などが多様化する中で、学生たちはアイデンティティの形成過程において、「私」が断片化してうまく悩むことができなかつたり、コミュニケーション力を講じられずに他人と親密な関係を結びにくくなつたりしています。また、「ヘリコプターペアレント」の用語に象徴されるように、親と学生との間で、自立を導き、自立をはかる関係性に変化を生じ、親の不安が問題の中心になることもあるとのことでした。このような事情を背景にして、実際、学生があらわすメンタルヘルスに関する問題は多岐に及んでおり、日本学生相談支援機構が示す 3 階層モデルのような包括的支援が重要になります。またこれを実行するためには、大学等の中で各部門と協働をはかる必要があり、守秘の履行を前提にしつつ、説明と同意の過程をしっかりと踏んで連携をとらなければならないとのことでした。

昨年、障がい者差別解消法が施行され、今後、学生相談では幅広い者を対象にキャンパスライフ全般を視野に入れたきめ細やかな支援がより一層求められると思われまふ。今回の講演は、我々にとって、近年の学生のメンタルヘルスの動

向を知り、社会的ニーズに対応した支援を行ううえで非常に有意義なものとなりました。

最後になりますが、昨年、澤村先生は“Six-year longitudinal changes in mental health and personality factors among medical students”の学位論文で医学博士号を授与されました。会員、校友としてご同慶の至りであり、その榮譽を讃えたいと思います。



講師 澤村 律子 先生
(大阪医科大学保健管理室)

分科会 1

「睡眠障害の認知行動療法：基礎と実践」 をお聴きして

阪南病院 吉川征延

分科会 1 では、岡島義先生（早稲田大学人間科学学術院）に「睡眠障害の認知行動療法：基礎と実践」というテーマでご講義いただきました。岡島先生は認知行動療法を用いた治療だけでなく、研究や普及にも力を注がれておられます。

講義は知識編と実践編に分かれており、知識編ではさまざまな睡眠障害について解説がありました。睡眠に対する認知行動療法を実施するには、

睡眠障害全般の知識が必要とお話されていました。その後、睡眠に関する基礎知識の解説があり、光の重要性や加齢との関係、体温と寝つきの関係性など、どれも興味深いお話ばかりでした。終了後にある参加者から、「知ってそうで知らない内容で非常に参考になった」、「睡眠についてはクライアントとよく話すが、専門的な知識が不足していた」などの意見があり、知識編だけでも明日からの臨床に役に立つものでした。

後半の実践編では、不眠症のクライアントに認知行動療法をどのように適用するかについて睡眠スケジュール法と呼ばれる方法を中心に解説いただきました。睡眠スケジュール法では、効率的に睡眠をとるため臥床時間を減らすことを提案することから、クライアントにとって辛さを伴うものでもあり、いかに動機づけするかが重要とお話がありました。ワークでは、抵抗を示すクライアントに動機づけをする練習を行いました。ここでは、岡島先生が実践されている工夫についてお話いただき、岡島先生の臨床的態度に感銘を受けました。不眠の認知行動療法はマニュアルがある心理療法ですが、クライアントの状況をしっかりと観察し、十分に注意して実施する必要があると感じました。

第一線でご活躍の岡島先生に、遠く東京から来ていただき、ご講義いただけたことは非常に貴重な経験でした。この場をお借りして感謝申し上げます。



講師 岡島 義 先生
(早稲田大学人間科学学術院)

分科会 2 「はじめて学ぶ認知症アセスメント」を お聴きして

藍野病院 首藤賢

分科会 2 では「はじめて学ぶ認知症アセスメント」と題し、前半は加藤佑佳先生（京都府立医科大学大学院）よりご講義を、後半は井上菜々先生（藍野病院）よりご提示いただいた事例を基にグループ討議を行いました。

前半の講義では、検査導入にあたっての注意点や検査を進めるうえで必要な情報、認知症のタイプごとの特徴などを踏まえたうえで、認知症診療場面で汎用される様々な評価ツールの特徴および施行法についてご説明いただきました。特に検査の導入にあたる留意点に関しては、認知症領域だけでなくアセスメント全般を実施する際に心掛けたい姿勢であるように感じました。また認知症診療で活用される様々な評価ツールに関する説明では、スクリーニングレベルの検査を組み合わせることで、より精度の高いバッテリーを示そう

第 11 回総会研修会に参加して

藍野花園病院 山口真奈

とされる加藤先生の姿勢は日頃、認知症診療に携わる私自身も見習うべきものを感じました。

後半のグループ討議では、井上先生よりご提示いただいた事例に基づき 4～5 名程度のグループに分かれて活発な討議が行われました。事例は、診療情報や検査データだけでなくケアの方向性まで含めた検討がなされており、事例提供が初めてであることを強調される井上先生の発表は、非常にわかりやすく、事例を通して臨床に真摯に向き合う井上先生の姿勢を垣間見た思いでした。また日頃は異なる環境に属する参加者が事例を通して情報を共有、討議できたことは、会員同士の相互理解を深めるうえで有意義であったように思います。

また同時に、諸先輩方の努力のうえに当会の発展があることを覚えつつ、このような会員同士の相互理解を図る取組みが大切であるように感じました。

最後になりましたが、今回の分科会を実現するにあたり、お忙しいところご尽力いただいた加藤先生、井上先生にこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。



講師 加藤 佑佳 先生(京都府立医科大学)
事例提供 井上 菜々先生(藍野病院)

平成 29 年 5 月 14 日に開催された関西大学臨床心理士会第 11 回総会研修会において、午前中は澤村律子先生(大阪医科大学保健管理室)に「学生のメンタルヘルス」というテーマでご講演いただきました。学生支援をする際、学生を取り巻く環境を理解しておく必要があること、学生の心理傾向が変化していることなどを、豊富なお話からお話しくさしました。最近まで学生だった自分にも当てはまる心理傾向があるのでは、と心臓が縮み上がる思いで拝聴していました。「時代の移り変わりに伴って、ケースやそれを取り巻く状況が多様化するため、広い視野を持ち続けること」「多職種協働と守秘義務遂行の間に起こるジレンマにどう対処したらよいか」など印象深くお聞きしました。心理士は柔軟で真摯な姿勢を保ち続ける必要があることを実感しました。

午後からは、分科会 1「睡眠障害の認知行動療法：基礎と実践」に参加させていただき、岡島義先生(早稲田大学人間科学学術院)のご講演を拝聴しました。睡眠は心理的な症状に影響を与えることも多く、カウンセリングの中でも「眠れなかった」などの話題がちらほらと出ます。私は精神科病院に勤務しておりますが、症状悪化のサインが不眠である患者様もおり、日頃より睡眠への介入方法を身につけておく必要性を痛感しておりました。今回のご講演では、経験則ではない睡眠の正しい知識を身につける必要性や、クライアントの実践につながる伝え方のコツなどをお話しくさしました。ご講演いただいた内容を、クライアントのお役に立てるように臨床活動に活かして参りたいと思います。

最後になりましたが、貴重なお話をお聞かせくださいました澤村先生、岡島先生をはじめ、今回の総会研修会を企画運営いただいた先生方から感謝を申し上げます。

関西大学心理相談室 山川祐介

平成 29 年 5 月 14 日に開催された関西大学臨床心理士会第 11 回総会研修会において、午前は澤村律子先生(大阪医科大学保健管理室)によるご講演「学生のメンタルヘルス」を拝聴しました。澤村先生は、近年の学生にみられる心理的傾向について、実際のエピソードを交えながらお話くださいました。自省する力や対面的コミュニケーション力の低下、親の過干渉傾向など、日々の実践で感じてこられた内容はとても説得力があるものでした。ご講演を拝聴し、こうした傾向をもつ学生に関わる難しさを感じる一方で、対面し互いに関係合っていく心理面接は現代こそ大きな意味をもち得るようにも感じました。自分自身はどんな面接をしているのだろうと、改めて考える機会となりました。

午後からは、加藤佑佳先生(京都府立医科大学大学院)による「はじめて学ぶ認知症アセスメント」に参加させて頂きました。加藤先生は、代表的な認知症について、特徴的な症状や経過をとともわかりやすく解説してくださいました。さらに、認知症アセスメントに用いられる検査について、各検査項目が評価している内容や検査を実施するにあたっての留意点についてもお示しください、現場での臨床活動にすぐに生かすことのできる内容でした。その後、井上菜々先生(藍野病院)がご提供くださった事例について検討しました。先に解説して頂いた知識をもとに意見を出し合い、見立てから支援のあり方にまで考えを広げ、理解を深めることができました。

私は現在、大学の心理相談室での心理面接や病院の精神科での認知症検査に携わっています。それぞれの現場でも先輩方からご指導を頂き、精一杯、業務に取り組んでいます。今回の総会研修会は、そんな私にとって、日々の臨床活動に直結した実りある研修となりました。最後になりましたが、講師の先生方をはじめ、このような貴重な機会を与えてくださった各先生方に心より感謝申し上げます。

第 11 回総会議事録 (抜粋)

日時:平成 29 年 5 月 14 日(日)11:30~12:00

場所:関西大学尚文館 1 階マルチメディア AV 大教室

【審議事項】

下記の第 1 号議案から第 6 号議案が諮られ、すべて満場一致で承認された。

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告

1. 平成 28 年 1 月 15 日(金)校友会新年互礼会
於 新阪急ホテル
2. 平成 28 年 2 月 9 日(火)執行部会
於 関西大学総合研究棟 談話室
3. 平成 28 年 2 月 14 日(日)院生主催研修会⑩
於 関西大学尚文館 1 階マルチメディア AV 大教室
4. 平成 28 年 2 月 27 日(土)幹事会
於 新関西大学会館南棟 4 階 チルコロ
5. 平成 28 年 3 月 26 日(土)第 106 回定時代議員会
於 関西大学 100 周年記念会館
6. 平成 28 年 5 月 22 日(日)第 10 回総会研修会
於 関西大学尚文館 1 階マルチメディア AV 大教室(総会および研修会)
関西大学 100 周年記念会館レストラン紫紺(懇親会)

7. 平成 28 年 6 月 12 日(日)院生主催研修会⑦
 於 関西大学尚文館 1 階マルチメディア AV 大
 教室

8. 平成 28 年 6 月 25 日(土)幹事会
 於 新関西大学会館南棟 4 階 チルコロ

9. 平成 28 年 7 月 2 日(土)平成 28 年度全国組
 織代表者会議
 於 関西大学 100 周年記念会館

10. 平成 28 年 7 月 関西大学校友会発行「關大
 第 594 号 平成 28 年 7 月 15 日発行号」
 第 10 回総会研修会報告記事を投稿および
 掲載

11. 平成 28 年 9 月 25 日(日)院生主催研修会⑧
 於 関西大学尚文館 1 階マルチメディア AV 大
 教室

12. 平成 28 年 10 月 16 日(日)平成 28 年度関西
 大学校友総会
 於 関西大学第 2 学舎 4 号館 BIG ホール 100

13. 平成 28 年 11 月 1 日(火)ニュースレター第 10
 号発行

14. 平成 28 年 11 月 20 日(日)院生主催研修会⑨
 於 関西大学尚文館 1 階マルチメディア AV 大
 教室

15. 平成 28 年 12 月 3 日(土)研修会担当幹事打
 ち合わせ
 於 カフェミラノ

16. 平成 28 年 12 月 10 日(土)第 11 回幹事主催
 研修会
 於 関西大学尚文館 5 階 501 教室(研修会)

第 2 号議案 平成 28 年度会計決算報告

第 3 号議案 平成 28 年度決算監査報告

平成28年度 一般会計 決算報告

(平成28年1月1日～12月31日)

(単位:円)

収入				支出				
項目	予算	決算額	備考	項目	予算	決算額	備考	
年会費	630,000	630,000	正会員 平成28年度分 @3,000×196名 588,000 平成27年度分 @3,000×10名 30,000 平成28年度分 @3,000×4名 12,000	事務局費	255,000	83,159	幹事会食費 事務用品費 パソコン搬送費 事務管理費 研修会食費 ニュースレター印刷費 封筒印刷費 研修会室内印刷費	28,752 12,227 15,980 19,200 7,000 46,000 10,000 8,984
総会	270,000	203,500	総会参加費 正会員 @1,000×90名 90,000 懇親会参加費 正会員 @3,500×31名 108,500 学生会 @2,500×2名 5,000 院生主催研修会参加費 @1,000×22名 22,000	総会	325,000	231,760	講師謝礼 年会費搬送費 総会室内郵送料 監査郵送料 ニュースレター郵送料 ワークショップ申請費	45,000 27,470 28,700 2,940 44,280 3,080
研修会参加費	40,000	22,000		研修会	250,000	265,120	幹事主催研修会 講師謝礼 院生主催研修会 講師謝礼 院生主催研修会 会議費	30,000 240,000 15,120
繰越金	814,882	1,716,252	前年度からの繰越金	繰越金	729,882	1,804,383	次年度への繰越金	
利息		104						
合計	1,754,882	2,571,856		合計	1,754,882	2,571,856		

平成28年度 特別会計 決算報告

(平成28年1月1日～12月31日)

(単位:円)

収入				支出				
項目	予算	決算額	備考	項目	予算	決算額	備考	
年会費	190,000	120,000	委員会 平成28年度分 @2,000×57名 114,000 平成27年度分 @2,000×1名 2,000 平成28年度分 @2,000×1名 2,000 平成28年度分 @2,000×1名 2,000	10周年 記念事業	500,000	353,608	印刷費 郵送料 事務局費	296,608 89,000 8,000
繰越金	570,000	520,112	前年度からの繰越金	繰越金	260,000	286,546	次年度への繰越金	
利息		42						
合計	760,000	640,154		合計	760,000	640,154		

平成28年度の会計について監査いたしましたところ、帳簿、領収書等適正に処理されており、収入・支出・繰越金は決算報告の通り、相違ありません。

平成 28 年 3 月 29 日

会計監査

小崎 英之 (印)

根本由佳 (印)

第 4 号議案 平成 30 年度事業案

- 平成 30 年 1 月 校友会新年互礼会
- 平成 30 年 1 月 執行部会
- 平成 30 年 2 月 幹事会
- 平成 30 年 3 月 校友会 定時代議員会
- 平成 30 年 5 月 第 12 回総会研修会
- 平成 30 年 6 月 校友会 定時代議員会
- 平成 30 年 7 月 関西大学校友会発行
「關大」第 12 回総会研修会報告記事を投稿
- 平成 30 年 10 月 ニュースレター第 12 号発信
- 平成 30 年 10 月 平成 30 年度校友総会
- 院生主催研修会

第5号議案 平成30年度予算案

平成30年度 一般会計 予算案
(平成30年1月1日～12月31日)

取入			支出			
項目	予算案	備考	項目	予算案	備考	
年会費	720,000	平成30年度分	事務局費	192,000	幹事会台費	40,000
		正会員 @3000 × 240名			720,000	校友会正学生会費
					事務用品費	20,000
					パソコン関連費	80,000
					事務管理費	40,000
			印刷費	40,000	印刷費	40,000
			通信費	48,000	郵送費	48,000
総会研修会	170,000	懇親会参加費	総会研修会	275,000	講師謝礼	100,000
		正会員 @3000 × 50名			150,000	懇親会費
		準会員 @2000 × 10名	20,000		ワークショップ申請料	5,000
			研修会	260,000	院生主催研修会補助費	260,000
繰越金	732,882	前年度からの繰越金	繰越金	807,882	次年度への繰越金	
合計	1,622,882		合計	1,622,882		

平成30年度 特別会計 予算案
(平成30年1月1日～12月31日)

取入			支出		
項目	予算案	備考	項目	予算案	備考
年会費	96,000	入会金 @2,000 × 3名	繰越金	542,000	次年度への繰越金
		準会員 @1,000 × 90名			
繰越金	448,000	前年度からの繰越金	合計	542,000	
合計	542,000				

第6号議案 その他

審議事項なし

職 場 紹 介

香良病院 中上恵利子

香良病院は兵庫県北部で最初に設立された単科の精神科病院で、平成 30 年 6 月に創立 80 年を迎えます。病床数は 266 床あり、平成 20 年の新病棟の設立を始めとした度々の改修工事に加え、丹波市の豊かな自然を活かし四季折々の景色が楽しむことができる工夫をし、従来の精神科病院の暗いイメージを払拭できるよう療養環境の整備に尽力しています。

当院の心理室には常勤心理士が 2 名勤務しており、お互いに相談をしながら患者様への援助を考えています。主な業務はカウンセリングと心理検査です。カウンセリングの対象は多岐に渡りますが、いずれのケースでも患者様の心に寄り添うことを第一にし、その人らしさを大切にして関わっています。心理検査は鑑別診断の補助や性格傾向の把握のために実施しますが、依頼内容に応じた検査バッテリーや有用な結果の返却の仕方など状況に応じた柔軟な対応を心がけています。

また、近年は社会復帰支援事業の一環として、デイケアにて心理プログラムを実施するようになりました。5 名程の少人数のグループで、認知行動療法的アプローチを基本に再発予防や対人スキルの向上を目指した取り組みをしています。長期に渡る療養生活で自尊感情の低下が目立つ患者様が多く、地域社会と医療をつなげていくことの難しさを感じることもあります。一方で、患者様より「こうして自分のことを相談できる場があることで安心できる」という言葉をいただいた際にはとても嬉しく、活動を継続するエネルギーになっています。

今後は国家資格化もあり、心理職への社会的

要請は高まっていくことが考えられます。多様なニーズへの対応を意識して研鑽を積んでいきたいと思えます。今後とも先生方にはご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



事務局からのお知らせ

(1)ご報告

平成 29 年 5 月 14 日(日)に開催いたしました第 11 回総会研修会は、平成 29 年 6 月 21 日付で(公財)日本臨床心理士資格認定協会の短期型研修会(ワークショップ)として承認されました。

(2)登録情報変更について

事務局に電子メール(PC)のアドレスをご登録いただいていない方、アドレスの変更をお知らせいただいていない方は、事務局(kucpas@yahoo.co.jp)までお知らせください。また、併せて、氏名や住所、所属先など、本会にご登録いただいている情報に変更のある場合も、お手数ですが事務局までメールでお知らせいただきますよう、お願いいたします。

なお、フリーメール(特に Hotmail や MNS)をご利用の場合、返信が届かないケースが報告されており

ます。事務局からの返信がない場合は、迷惑メール防止機能の受信許可設定を見直していただくか、その他のメールアドレスから再度ご連絡をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

(3) 会費納入のお願い

平成 29 年度会費を未納の方は、年会費(正会員:3000 円、準会員:2000 円)を下記のうち口座にお振り込みください。なお、領収書は発行しませんので、振り込み用紙をもって領収書にかえさせていただきます。年会費の振り込み状況などについては事務局 (kucpas@yahoo.co.jp) にお問い合わせください。

口座名称: 関西大学臨床心理士会

口座番号: 00900-5-169501

(4) その他

本会对する皆様からの情報やご意見などを事務局 (kucpas@yahoo.co.jp) までお寄せください。原稿は、紙面の都合上 2,000 字以内でお願いいたします。ご投稿いただきました原稿は、幹事会での掲載承認後、編集部で編集の上、掲載とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

第 12 回総会研修会のお知らせ

第 12 回総会研修会は来年 5 月に開催する予定です。日程などの詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

編集後記

第 11 回総会研修会は、午前に特別講演、午後には 2 つの分科会が催され、88 名の参加者とともに充実した 1 日を過ごすことができました。

本研修会に参加することで得られるものは、専門的な学びだけではありません。同期や先輩、後輩などなつかしい顔ぶれと旧交を温めたり、関大前駅から大学までの道中の変化に驚いたり、馴れ親しんだ学舎へ足を運ぶことで自身の学生時代を思い出せるといった貴重な機会になっていることと思います。

本会は設立から 11 年目で会員数は準会員も含めて 385 名となりました。大学院生から中堅、ベテランの先生方まで、多様な職場で活躍されていらっしやいます。これからも、会員相互に研鑽し、技能の向上をはかるとともに、本ニューズレターが関西大学の仲間とのつながりを再確認する機会となれば幸いです。

香川 香 (関西大学)

関西大学臨床心理士会ニューズレター第 11 号

平成 29 年 11 月 1 日発行

発行者: 関西大学臨床心理士会

事務局所在地: 〒564-8680

大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学総合研究室棟

岡田研究室気付

編集責任: 岡田弘司 香川香 首藤賢 若林暁子